



ギャラリー「期待場」(解説は15ページ)

### 主な記事の内容

- 9月議会常任委員会 **2**～**7**
- 一般質問 **8**～**10**
- 審議結果、賛否のわかれた議案、一般会計補正予算、請願・陳情の審査結果、全員協議会、決算特別委員会、討論、特別委員会、意見書の提出、一部事務組合・広域連合議会、表紙解説 **11**～**15**
- 五浦美術館、編集後記、12月議会日程 **16**



議会だよりQRコード

会期中にそれぞれ委員会を開催し、委員会に付託された議案の審査を行いました。

また、委員会の分掌に関する事項についても質疑を行っております。ここでは、委員会での質疑の一部を紹介いたします。

## 産業建設委員会

9月14日及び22日に開催され、現地調査として、市道廃止・認定路線（大津町・関本町）、揚枝方新キャンプ場予定地（関本町）、広域ごみ処理施設（中郷町）を視察し、付託された議案9件を審査しました。その他の事項については文書質問を提出し、質疑を行いました。

### 北茨城市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

**問** 広域ごみ処理施設が令和5年度から稼働するに伴い、市が担ってきたごみ処理などの業務が当該施設に移行されるための一部改正です。内容の一部は別表のとおり。  
**問** 現行のごみ袋の有効期間や価格などについてはいかがか。  
**答** ごみ袋及び粗大ごみ処理券は組合指定となりますが、経過措置

としてなくなるまで使えます。新しいごみ袋の価格は、現行料金より高くなるよう検討中です。

改正案	現行
もやせるごみ	もやせるごみ
もやせないごみ	埋立ごみ
粗大ごみ	粗大ごみ
有害・危険ごみ	有害ごみ
資源ごみ	資源物

### 一般会計補正予算について

**問** 主なものについて伺う。  
**答** 農林水産業費として多目的集会所3箇所の空調設備設置工事に652万7千円、マウントあかねの展望浴室棟新設工事に1億2438万8千円、コロナ感染症対策としての商工業振興費2億4964万8千円、揚枝方地区キャンプ場整備事業に595万7千円、ウオーキングロード整備事業に7600万円、中妻豊田線の道路新設改良事業で予算の組替えなどです。

### コロナ・物価高騰対策

**問** 商工業振興費のうちコロナ感染症対策としての3事業や主なものについて伺う。  
**答** 1点目は、生活応援商品券配布事業で9811万円です。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、原

油価格・物価高騰による家計への負担軽減及び地域経済活性化を支援するため、滞納の有無にかかわらず、全市民に1人2千円分（増額の可能性あり）の商品券を配布します。2点目は、事業者支援一時金に9000万円です。支給要件は、令和4年4月から9月までのいずれかの月の事業収入が、平成31年から令和3年までのいずれかの年の同月比で30%以上減少していること、または半年間の経常利益の合計が、平成31年から令和3年までのいずれかの年の経常利益と比較して10%以上減少していることの2点です。1事業者につき20万円で、対象事業者450社、申請期間は10月3日から翌年1月31日までです。3点目は、宿泊事業者給付金事業で6150万円です。一人当たり2千円の助成で、宿泊料金1万円以上が対象です。市内で約30事業者が参加を見込んでいます。実施期間は、今年の12月から翌年2月末までの3ヶ月間です。いずれも、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

**問** 空調設備設置工事は、中郷・関南・関本の多目的集会所が対象です。指定避難所であることから、避難者の生活環境改善として、和室と事務室に設置します。

### 揚枝方地区新キャンプ場

**問** 揚枝方地区キャンプ場整備事業について、総工事費や構想の内容などについて伺う。  
**答** 予定地約3haの土地購入費です。年度内に土地購入契約が確実に終了することをめざして予算計上しました。

**問** 総工事費は造成・建築費など合わせて概算4億5千万円です。土地の形状を活かし3つのゾーンの整備を考えており、建物は管理棟・シャワー室・バーベキュー施設などの9棟を予定しています。工期間は約5年、全て一般財源からの支出となります。  
**要望** 今後、詳細について報告すること、また設計段階から、地元住民の要望や意見を聴取し連携を図るよう、付帯意見を付ける。

### マウントあかね展望浴室新設

**問** マウントあかねの展望浴室棟新設工事について伺う。  
**答** すでに当初予算で、施設の空調設備などの改修工事を行っています。コロナ禍で、資材高騰や工事の長期化が懸念されることから、来年度予定していた新設工事の前進しをします。展望浴室棟は東に位置し、本体施設からは、わたり廊下でつながります。規模は現浴室と同程度、男女とも6〜8人です。

整備した際には、現浴室はカラオケルームなどに改修予定です。

### ふれあい財団について

**問** 「よう・そろー」の修繕と老朽化についての対策を伺う。

**答** 平成17年に供用開始、震災後25年にリニューアルして再開しました。

当初予算で、修繕費230万円を計上しました。しかし、その後新たに機器の故障が発生し、また、システムの独自性ゆえに構造上高額になることなど判明しました。現在は、先の予算内で対応可能なVR6台の設置を予定しています。

今後、設備の見直しを含め、修繕計画を検討します。

### 市民まつりのミニステージについて

**答** 内容は、新しい地域おこし協力隊員を中心とした「シャボン玉」をモチーフの演劇、お笑いライブに5組、最後に石井竜也さんのソロライブでした。抽選で出演者のサイン入り色紙、記念写真を贈りました。

予算内訳は、出演料に321万円、会場設営に146万円、仮設電気工事代に60万円、警備に35万円、他雑費です。コロナ感染対策は、看板設置で注意喚起、消毒・

マスク着用・発声禁止、大型扇風機5台、10ヶ所の扉の開放、隣席との間隔確保と万全を尽しました。来場者数は、募集800人に応募1700人、抽選で確定し、当日は8割以上の参加で好評でした。

### 永代供養墓場について

**答** 納骨堂はおかず、樹木葬形式を考えています。中心のモニユメントの周りにお骨を埋葬し、外周に植樹します。参拝エリアは焼香台、休憩ベンチ、銘板などを設置予定です。

泉沢霊園の東側公園に、面積は約400㎡弱、埋葬可能数は約300、建設費約3千万円を見込んでいます。

### 起業支援策と現況について

**答** 市内で起業する希望者に、起業スクールを4回開きます。9月は、3日・10日・17日と3回実施、24日に4回目を行います。5回目は10月8日で、ビジネスプランの審査となります。

その審査で優秀な方2人に、1人最大200万円の補助を行うものです。現在の受講生は16名です。

### 消費者センターについて

**問** 相談数や内容、被害額を伺う。  
**答** 相談件数は、令和3年度で234件、本年8月現在で100件

です。相談内容は、市職員を名乗った者から、消費税分の還付金があるから銀行ATMへ行けと言われたり、通信販売で当初の説明と違って高額を支払いを要求されたりなどです。

被害額は、3年度で約1億4千万円、本年8月現在で約2500万円です。回収額は、3年度で40件、1073万円、本年8月現在で15件、742万円です。

### 職員の研修について伺う。

**答** 3年度で18回、本年8月現在で11回行っています。また警察と連携し、相談にあたっています。

要望 羞恥心から人に言えず悩む方もいる。相談窓口を市民にしっかり周知していただきたい。

### 二級河川の浚渫について

**答** 大北川は2箇所、市立図書館付近約140mと石岡地区で、花園川は車橋から上流を予定、と県からの報告です。

### ときわ団地周辺整備について

**答** 昨年度から排水計画・設計を進めています。軟弱地盤対策の検討のため、地質調査を実施しているところです。

調査結果ができ次第、設計方針を決め、年明けには説明会を開きたいと考えています。

## 産業建設委員

(議席順)

所管は、環境産業部、農業委員会、都市建設部及び水道部に関する事項。



鈴木 卓實



松本 正春



今井 路江



豊田 弘俊



鈴木 康子



大平 博之

## 文教厚生委員会

9月15日に開催され、付託された請願1件、議案4件、継続議会議案1件を審査し、その他については文書質問を提出し、質疑を行いました。

### 雨情の里スポーツ広場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

**答** 現在、雨情の里スポーツ広場には、テニスコート、多目的広場、グランドゴルフ場が整備されており、これまで市民のスポーツ振興に寄与してきました。しかし、一般の人口減少や少子高齢化を背景として、当市の活力を維持・向上すべく、新たに工業団地として整備するため、本条例を廃止します。代替施設としては、磯原地区公園テニスコート、サッカーラグビー場、石岡及び北部スポーツ広場があります。また、旧華川中学校跡地にはスポーツパークを整備中です。

### 一般会計補正予算について

**問** 主なものについて伺う。

**答** 私立保育所乳児等事業費補助金は、一歳児を保育し、かつ事業に直接従事する非常勤保育士などを雇用する私立保育所などに、費

用の一部を補助するため152万5千円の補正です。

保育対策総合支援事業費補助金及び子ども・子育て支援事業費補助金は、保育所などや子ども子育て支援事業の実施において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら事業を継続的に提供するために必要なかかり増し経費及び研修などのオンライン化を進める経費を補助するため、合計183万9千9百円の補正です。

中郷中学校屋内運動場長寿命化改修事業は、老朽化した屋内運動場で雨漏りが広範囲に発生しており、主に改修工事設計委託料として、502万7千円の補正です。



先に改修工事が進む中郷第一小学校屋内運動場 (10月撮影)

新型コロナウイルス感染症対策として、関南・関本小学校を除く小学校9校及び中郷・常北中学校2校の小便器の自動水栓化などに、それぞれ84万7千円及び25万4千8百円の補正です。

公民館空調設備設置工事は、災害時の避難所に指定されている4公民館(華川、関南、大津、平湯)において、避難者の生活環境の改善の観点から、事務室及び和室1室に空調設備を整備するため、102万6千円の補正です。

(仮称)旧華川中学校スポーツパーク整備事業は、旧華川中学校跡地に、グランドゴルフ場、スケートボード場、管理棟、進入路及び駐車場などを整備するため、工事費、設計委託料、監理委託料及びアスベスト調査委託料として、2億2172万5千円の補正です。

社会教育総務費は、来年1月8日に実施予定の「はたちの集い」に要する事業費で、137万4千円の補正です。今年4月1日の民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられましたが、当市では式典対象者を今まで同様20歳とし、名称を「成人式祝典」から「はたちの集い」と変更します。またコロナ感染症対策のため、会場は昨年同様「あゆみドーム」での開催とし、会場設営費及び抗原検査キット購入などに要する費用です。

### コロナウイルス対応について

**問** 9月2日から茨城県では感染者の公表方法が変更になったが、目的と変更点を伺う。

**答** 発熱外来及び保健所業務の緩和を目的とし、自宅療養者数、退院・退所者数などの陽性者の状況や、市町村別新規陽性者などの公表がなくなりました。

**問** 変更したことにより問題となる点を伺う。

**答** 発生届の対象外となる方は、氏名や連絡先が不明であるため、保健所からの連絡がなくなり、したがって、自身で健康観察を行うようになります。なお、宿泊療養を希望する場合は、自分で県HPから、いばらき電子申請サービスに申込みをすれば連絡が入る体制となっています。市は、相談があれば応じていますが、基本的には県保健所が対応の窓口であり、これまでと変更はありません。

**問** 目的に医師の業務の緩和があるが、実際に緩和しているのか、市民病院に伺う。

**答** 県への報告項目の減などにより、医師及び看護師の負担軽減が図られています。

**問** 9月2日を境に、感染者数の公表値が大幅に減となったが、市民の予防意識の低下の恐れはないか伺う。

答 今のところ、公表方法の変更による市民からの問い合わせはありません。市としては、これまでどおり広報紙やHPなどで、感染対策の啓発を継続していきます。

### 幼稚園などの送迎バスについて

問 9月5日に静岡県で発生した通園中における女児取り残し事故を受けて、市内の送迎バスの状況について伺う。

答 現在の送迎バスの運行は、市内認定こども園など9園のうち5園で、17台、27コースを運行しています。園児1117人中、285人が利用しています。

昨年7月にも福岡県で同様な事故が発生しており、その際、国からは安全運行の徹底を求める通知が発出されています。

現在、園では、送迎バス運行の際には事故防止のため、運転担当の職員の他に、子どもの世話をする職員が同乗しています。また、乗車時、降車時には、子どもの確認を行い、その情報を職員で共有しています。なお、運行時のチェック表やマニュアルは整備されています。

さらに、子どもの出欠については、保護者に確認するとともに、登園時や園内活動の前後における

人数確認を徹底するなどダブルチェック体制をとっています。

問 今回の事故を受けての対応について伺う。

答 すでに、9月6日付けで、県から送迎バスにおける安全確保について文書が発出されており、市をとおして園に通知しています。

また、国からは、バス送迎にあつたての安全確保について、園にて緊急点検を実施し、9月27日までに取りまとめるようにとの通知がきています。さらに、今年末までに、市において実地調査を行うこととなっておりますので、速やかに実施します。

### 2学期制への移行について

問 一般質問にて質疑のあった2学期制への移行の検討について経緯を伺う。

答 令和3年度後半に、市校長会から市教育委員会に対し、2学期制への移行検討の発意がなされました。時間的余裕がない時期でもあったため、今年度改めて発意があり、現在、市校長会と市教育委員会合同で「北茨城市2学期制検討委員会」を組織し、導入の是非などについて、検討を進めています。

問 これまでの保護者に対する説明の状況について伺う。

答 今年度1学期に、保護者に対し、9月に「2学期制に関する意識調査」を実施する旨の通知をしました。

問 アンケートの質問内容について伺う。

答 市教育委員会では、検討委員会から起案されている内容について、慎重に確認作業を行ってまいります。主には「2学期制に関する考え」について、その理由や児童生徒に与える影響について問うものとなっており、教職員に対しても、同様の質問内容にて意識調査を実施します。

問 移行の決定方法について伺う。

答 アンケート結果については、保護者の意識、理由、自由記述などを慎重に分析するとともに、集計結果を保護者、教職員、地域に対し周知します。

2学期制への移行については、移行するのか、移行しないのか、あるいは、試行的に実施するのか、現段階では決定していません。

要望 この問題は、大きな教育上の変更となる。移行におけるメリット、デメリットを十分理解できず、アンケートにするとともに、広く意見を聞き、決定するよう要望する。

## 文教厚生委員

(議席順)

所管は、市民福祉部（市民課を除く）、教育委員会及び市民病院に関する事項。



滝 文裕



和田 喜武



熊田 栄



滝 広嗣



鈴木 啓一



鈴木 和栄

## 総務委員会

9月16日に開催され、付託された陳情1件、議案5件を審査し、その他の質問についても文書質問を提出し、質疑を行いました。

### 専決処分について

**答** 歳入は、国庫支出金及び繰越金を増額し、歳出は、総務費において、データセンター事業実施可能性調査業務委託料を計上するものです。

**問** データセンターの調査委託先と調査内容について伺う。

**答** 通信インフラ整備に関する知識と、国内外のデータセンター事業者の最新情勢や投資傾向など幅広い分野において専門的な知見を持つ業者を、関係省庁の助言を得ながら選定いたします。

調査内容は、データセンターの役割や社会的必要性などの概況調査、主要データセンター事業者へのヒアリングによる需要調査、通信ネットワーク環境や電力供給環境及びレジリエンス（リスクなど対応能力）の観点から、当市の立地環境などの調査を想定しています。

**行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について**

**答** 生活保護に準じた保護を受けている外国人について、医療補助に係るオンライン資格確認が導入されることに伴い、個人番号を独自利用するため、本条例の一部を改正するものです。

マイナンバーカードによる資格や本人確認をするとともに、医療券の発行・送付などの事務を省力化し、利用者の利便性も高めるものとなっております。

### 一般会計補正予算について

**問** 主なものについて伺う。

**答** 総務費において、市が所有している防犯灯をLED化し、各地区が管理している街路灯について市へ移管し、LED灯具への交換を行うため諸費用を増額します。

消防費において、消防団員が避難行動要支援者宅へ戸別訪問する訓練に合わせて、住宅用火災警報器を配布するとともに、無人航空機の操縦免許等の取得を行う非常備消防費などの増額をするものです。

### 非常備消防費について

**問** 無人航空機操縦取扱講習業務委託料について伺う。

**答** 消防団の力向上モデル事業として「消防団員による無人航空機を使った災害情報収集訓練事業」実施に係る委託料です。

受講者は機能別消防団員（市役所消防団員）とし26名のうち4名の操縦資格確保を予定しています。

**問** 今後の運用について伺う。

**答** 無人航空機（ドローン）の導入に関しては、東日本大震災の経験や近年多発し激甚化する災害において、災害状況の把握や早期の情報収集が不可欠です。今までのなかなか人が入れなかつた災害地において、上空から早期に情報を収集できるように運用していきます。

### LED照明器具交換業務委託料について

**問** 各常会、区へ通知された回答は締め切られたのか、また委託料について伺う。

**答** 常会や区からの街路灯移管及びLED化事業については、現在も広報紙で案内しており、引き続き申請を受け付けています。

これにより、これまで常会が負担していた球切れなどの修繕料や電気料の経費が大幅に軽減されます。委託料については、1584

万円で約800灯を見込んでおり、年度内の完了を予定しています。要望 地域の声をよく聞き、交換また増減をお願いする。

### 委託料について

**問** 市で契約している昨年度の業務委託について伺う。

**答** 業務委託件数は315件で単価契約は72件となっております。直近5年の契約件数は、例年平均約300件で推移しており、契約金額は、長期契約も含め換算すると、年平均約11億円の契約で推移しています。

### 公用車について

**問** 集中管理について伺う。

**答** 集中管理車については、大型バス1台を含め19台です。メリットは、1台の車両を複数課で利用することができ、出張先や人数により最適な車両を選択することができます。また、車検などの点検管理も一元化できるので、より効果的な運用ができます。

### ふるさと納税について

**問** ふるさと納税の収支について伺う。

**答** 令和3年度は寄付受入額が約1億800万円で、それらに係る経費が返礼品費や業務委託料などで約5200万円で、また、北

茨城市民の方が他市に寄付した件数が916件で、寄付による課税控除額は3200万円です。なお、課税控除額の75%が交付税措置されます。

### 防災行政無線について

**問** 聞こえにくい地区の対策について伺う。

**答** 平成23年度から運用が始まり市内81子局あるが、立地条件などで聞きにくいという地域もあります。防災ハザード区域内の高齢者世帯の方へは、希望により個別受信機を貸与し、防災行政無線を補完しています。令和3年度より実施し、現在415件の設置です。

**問** ハザード区域以外の方の対応について伺う。

**答** 個別受信機の貸与も検討しているが、防災メールの登録をお願いしています。また自動電話応答サービスについては、なかなかつながらないとの指摘もあったため、4回線を6回線に増設し対応しています。

現在の防災行政無線は10年を超え、更新時期が近づいていることもあり、更新に向け現在の放送伝達手段の在り方について検討していきます。

**要望** 放送内容も変化中、ハザード区域以外でも市民が積極的に聞ける環境整備を要望する。

### 消防分団の統廃合について

**問** 現在の消防団員数と規定の定員について伺う。

**答** 現在473名です。基本団員と機能別団員で条例の定数を変更していますが、どちらも定数は満たしていません。

**問** 統廃合によりどのような効果があるのか、また団員が集まった時の状況について伺う。

**答** 16年から適正配置の見直しをしてきました。統廃合により施設の管理費や車両の整備費などが削減できています。しかし、団員が集まった時の駐車場の確保が問題となっており、詰所の新築移転では駐車スペースや、団員数に応じた設計をしています。

**問** 使わなくなった詰所の利用方法と計画について伺う。

**答** 用途を終えた消防団詰所は現在5施設あります。地域の要望により小型ポンプを置いたり、市の資機材の保管場所として活用しています。北部地区では3つの消防分団が土のう袋など防災倉庫として活用しています。

用途を廃した消防団詰所は、解体の方向で進めていきます。

### マイナンバーカードについて

**問** 現在の取得率と過去の申請推移について伺う。

**答** 交付率の推移は、2年度は24・4%で3年度は37・8%です。8月末現在で申請率は52・8%、交付率は43・2%になっており伸びています。

**問** 更なる交付率向上のための今後の取組について伺う。

**答** 昨年度10月から市民課に申請サポート窓口を設置しました。本年2月には、後期高齢者医療広域連合から各高齢者に申請書が発行され、7月からは未申請者への申請書の再発送がありました。そのつど、市HPや広報紙に特集記事を掲載したことから、7月からの申請は一挙に上がっています。

8月からは、スマホなどでの申請が苦手で市役所へ出向くことが困難な方へ各地区での市民向けの出張サポートの実施や、関係企業や関係団体への訪問をし、出張サポートを行うなど、全庁あげてカード申請を行っています。

9月以降についても交付数の増加があるので、第1、第5日曜日にマイナンバー臨時交付窓口を設置し、毎週水曜日は夜7時まで時間を延長し、会社員など、平日来庁できない方への対策を講じていきます。交付者にはマイナポイントの申請も行っていきます。

(※マイナポイントの対象期間は、12月末まで延長となりました。)

## 総務委員

(議席順)

所管は、市長公室、総務部、市民福祉部のうち市民課、会計課、消防本部、監査委員事務局ならびに他の委員会に属さない事項。



沓澤 和彦



柴田 キクエ



上神谷 英典



蛭田 千香子



前田 利勝



豊田 海洋



鈴木 信男

## 防災アプリと補聴器購入補助について

豊田 弘俊

### 防災アプリについて

**問** 防災アプリの認識について伺う。  
**総務部長** 情報伝達手段の一つとして、気象情報や避難情報などの防災情報に特化したものと認識をしています。

**問** アプリの導入について伺う。  
**総務部長** 市独自の導入については、防災行政無線の親局の改修が必要となり、アプリの導入費用もかかることから、今後、防災行政無線の更新時期に合わせて検討をしていきます。

**問** このアプリを利用して、災害の際の避難所収容人数の情報提供について伺う。  
**総務部長** アプリの導入の際には、そのような情報の取り入れについて検討していきます。

なお、茨城県においては、市町村と情報を共有し、避難所の開設、混雑状況の情報提供サイトの開設をしています。

現在、避難所開設時には、市の防災メールにアクセス先を添付して市民に発信することにより、その避難所の開設、混雑状況が分かるようになっていきます。



### 高齢者の補聴器購入補助について

**問** 高齢者の難聴予防が認知症予防につながる点について認識を伺う。

**市民福祉部長** 高齢者が年を重ねるにつれて聴力が低下すると、会話がしづらくなり、他人とのつながりがおっくうになってしまい、コミュニケーション不足による脳への刺激が少なくなることで、認知症発症につながる危険性もあると言われております。難聴に対する対策をすることで、認知症予防の一つになるものと考えています。

**問** 認知症予防の観点から、補聴器購入費の補助金交付について伺う。  
**市民福祉部長** 高齢者への補聴器購入に対する補助金交付については、次期高齢者福祉計画の策定において行う実態調査や、他市の状況などを踏まえながら検討していきます。



## サニタリーボックスの設置と物価高騰における農業者への支援について

蛭田 千香子

### サニタリーボックスの設置について

**問** 公共施設の男性個室トイレにおけるサニタリーボックスの設置状況について伺う。

**市民福祉部長** サニタリーボックスの設置については、現在、市役所本庁舎及び老人福祉センター「ライト」に設置しています。

**問** 今後の取組について伺う。

**市民福祉部長** 必要性は認識していますので、今後、必要な施設への設置を進めていきたいと考えています。

**問** 商業施設などへの啓発の取組について伺う。

**市民福祉部長** 商業施設などへの設置については、市のほうで設置を進めることで、自然と商業施設の設置へ波及すると考えています。

### 物価高騰における農業者への支援について

**問** 国の肥料価格対策事業の内容とスケジュールについて伺う。

**環境産業部長** 令和4年6月から5年5月に購入された肥料に対し、前年からの増加率の肥料費の7割を支援します。

今後のスケジュールは、事業実施主体となる県協議会が設置され、第1弾として、秋用肥料分を4年10月から申請を行い、12月に支援金が交付される予定です。

**問** この事業の対象者、対象戸数について伺う。

**環境産業部長** 対象者は、農産物の販売実績がある農業者です。また、土壤診断による施肥計画や堆肥の利用など、国が示す化学肥料低減に向けた取組14項目のうち2つ以上を取り組むことが交付要件となります。

対象の販売農家数は818戸です。要望より多くの農業者が、この事業に申請できるサポートを要望する。

**問** 当事業の交付要件である化学肥料低減の意義について伺う。

**環境産業部長** 化学肥料の使用量を減らすことで、地球環境に配慮した持続可能な農業を実施するとともに、より国内資源を活用した資源循環的な農業への転換を図ります。施策目標として2030年までに化学肥料の使用量20%低減を掲げていることから、この事業の交付要件に取り込まれています。

**問** 物価高騰に対して、市独自の支援策について伺う。

**環境産業部長** 当市では、農業者が水田を守りながら農業を継続し生計を維持する目的で、飼料米やWCS用稲の作付に対する助成金の交付をしています。地産地消を目的とし、さらに肥料コストの低減にもつながらる耕畜連携の推進を、平成22年度から12年間にわたって支援しています。

今後も現在の支援策を継続しながら、農業情勢に応じた支援を行っていきます。物価高騰に特化した支援は、今のところ検討していません。



## 当市の学校教育における2学期制について

今井 路江

**問** 2学期制の導入について伺う。  
**教育長** 1年間を前期と後期の2つに分けて教育活動を推進する2学期制については、現在、市校長会の発意により、市教育委員会と合同で、その導入の是非などについて検討を進めているところです。

2学期制の狙いは、学期が長くなることで学びの連続性が確保できることや、始業式・終業式などの儀式的行事が削減され、授業時数が確保できることがあげられます。また、前期中にある夏休みを数日間短縮して授業日とすることで、一年を通して教育課程に余裕が生まれ、児童生徒の豊かな心の育成に資することが期待できます。

今後は、教職員、保護者への意識調査を行い、その結果を多面的、多角的に分析するなどして、2学期制の導入の是非などについて慎重に検討し、判断をしていきます。

**問** デメリットについて伺う。  
**教育長** デメリットについても把握しなければならぬところですが、メリットを前面に出しながら、デメリットについては対応していかなくてはならないと考えています。

前期の終業式と後期の始業式との間の日数が少ないことから、児童生徒の気持ちの切替えがなかなかできにくいのではないかとあります。さらには、通知表の回数が減ることに對して、成績の通知や児童生徒の学校

生活について、保護者へ説明責任を果たしていくことが求められます。

**問** 検討スケジュールについて伺う。  
**教育長** 9月早々に、保護者、教職員を対象にアンケート調査を実施します。そのアンケート調査を10月には整理分析をしていきます。その後2学期制検討委員会でも方向性を示しながら、教育委員会や市の意見を聞きながら進めたいと思います。

いずれにしても、時期については、今後慎重に検討しながら、令和5年度の各学校の計画などの準備もあるので、時期を間違えないように進めていきます。

**問** 検討結果の周知について伺う。  
**教育長** 2学期制について実施または今後のことを踏まえると、丁寧に保護者、児童生徒、教職員などに周知、理解をいただくことが大事になります。来年度実施するのか、または試行にするのか、そのことについては、この後そういった分析または話し合いの中で決まります。多くの皆さんに周知していくためには、まず文書、その後、学校で保護者に対する説明会なども考えなくてはなりません。

(他に、不登校、特別支援学級、学校でのコロナ対策について質問)

## 「コロナワクチン接種の有効性や安全性、副反応について

柴田 キクエ

**問** 有効性や安全性への見解について伺う。  
**市民福祉部長** 国が有効性や安全性について薬事承認をしているものですので、今後も国の方針に基づき、接種を実施します。

**問** 市内のコロナ感染者数及び副反応について伺う。  
**市民福祉部長** 9月2日から陽性者のカウントの仕方が変更になりました。9月1日付で、3370名が陽性となつています。集団接種会場において、接種後に救急対応をした方は、9月3日現在、293名です。

副反応疑い報告書を接種医療機関が作成し、PMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)へ提出します。その後、厚生労働省、県を経由して市へ報告があり、情報を把握しています。集団接種を含め、こちらは10件の報告があります。

**ファミリーサポート事業**  
**について**  
**問** 内容と活動件数、今後の課題について伺う。  
**市民福祉部長** 子育て、高齢、障害、病気などの理由で困っている方と、それを援助したい方との連絡調整などを行い、地域における相互援助活動の推進を図るもので、社会福祉協議会に委託しています。保育施設への送迎、子供の一時預かり、食事の支度、部屋の掃除、外出や通院時の付添いなどに係

る援助です。令和3年度における本事業の活動件数は、子育て家庭に対するものが148件、高齢者に対するものが1858件、障がい者などに対するものが384件です。

課題としては協力会員71名の高齢化が進んでいることや、新規の協力会員が増えないという点です。

**学校設備点検について**  
**問** 現状について伺う。  
**教育部長** 教職員が目視などの方法により日常的に実施する点検と、教育委員会が各種法令などに基づき、年に1度、専門業者へ委託し点検を行っています。

**アンガーマネジメント**  
**について**  
**問** 現状について伺う。  
**教育部長** アンガーマネジメントとは、怒りの感情と上手に付き合うための心理教育または心理トレーニングであると認識しています。

学校教育では、全教育活動において、意図的、計画的に児童生徒の生きる力の育成を図っており、授業、道徳、特別活動、学校行事は、既にアンガーマネジメントに該当するものと考えています。現状においてアンガーマネジメントに特化したカリキュラムは編成されていません。

## コロナから市民を守る医療体制について

松本 正春

### 発熱外来について

**問** 現在の医療キットについて伺う。  
市民病院事務部長 現在は、PCRやNEAR法の検査キットが大変不足している状況であることから抗原検査を中心に検査を行っています。

### 問 検査時間について伺う。

市民病院事務部長 PCR検査は、新型コロナウイルスの遺伝子を増幅させ検出する方法で、検査時間は約1時間程度です。NEAR法検査は、等温核酸増幅法という名前で、高速な核酸増幅ができるため検査時間は短く、15分程度です。

### 問 申し込み時間について伺う。

市民病院事務部長 感染症外来の申し込みは電話予約となっております。小児科は午前8時30分から、一般の方は午前9時から受付を行っています。当院では、第6波後に電話のつながりにくくなる対策をいろいろと検討を重ねてきました。感染症外来受付の地域医療連携相談室を1名増員、また、平日の午前中は電話交換手を1名増員するなどの対策を講じてきました。

### 問 一日の検査人数が増えた場合について伺う。

市民病院事務部長 当日どうしても受診したくても受診できない方もいます。今、これだけ感染拡大しており、発熱すれば心配される市民の方もたくさんいます。基礎疾患や65歳以上の方など重症化リスクが高い方を優先し、それ

以外の方については翌日にお願います。37℃台とか、38℃前半の時は翌日をお願いします。あります。

### 問 検査報告について伺う。

市民病院事務部長 感染症外来で陽性を確認した場合は、そのつど保健所のほうに発生届を提出しています。

### 支援物資について

### 問 支援物資について伺う。

市民福祉部長 自宅療養者に対し、近隣の親族や知人などの支援を受けることが困難な方など申請に基づき、県で配食サービスを実施していました。

### 問 自主検査における本人陽性確認について伺う。

市民福祉部長 医療用抗原検査キットの説明書を熟読し、適切な手順で検査を行えば、信頼できる結果が得られると考えます。

### 問 県による検査キットの配布について伺う。

市民福祉部長 県の検査キットの無料配布は8月19日からスタートし、8月末で終了しています。

### 問 軽症者の保険金請求について伺う。

市民福祉部長 生命保険協会が金融庁から要請を受けて、療養証明書に代わる書類として診療証明書を代替書類として用いることを保険会社に連絡していますので、問い合わせただければ確認できます。

## 介護保険制度について

鈴木 康子

### 市内の現況

**問** 23年目の介護保険制度は、コロナ禍で人材不足や施設整備の遅れなど、その矛盾が一段と明らかになったといえる。当市の介護保険の現況、施設数や利用者数など伺う。

市民福祉部長 介護施設は、入所・入居型と在宅サービス型の2つに大別できます。認定者数の91%が何らかのサービスを利用しています。

型	施設	数
入所・入居	介護老人保健施設	2
	特別養護老人ホーム	3
	グループホーム	4
	サービス付き住宅や有料老人ホームなど	10
在宅サービス	訪問介護施設	12
	訪問看護施設	5
	通所介護施設	27
	ショートステイやデイケアなど	13

年	被保険者数	認定者数	利用者数
2022年	14,670人	2,482人	2,253人
2017年	13,713人	2,191人	2,019人
比較	+957人	+291人	+234人

で、3施設の待機者の延べ人数は201人、重複を除き108人です。

### 課題と対応

### 問 課題と対策について伺う。

市民福祉部長 特養ホームへの入所待機者が多いのが実状です。高齢化でさらに増加が見込まれるので、待機者解消に向け、早期の施設整備が課題です。

**問** 高齢者が入院したその後に、リハビリやケアが必要で在宅介護が無理な場合でも施設入所が出来ずに、短期入所のサービスを繰り返すなどのケースがある。こうした受け入れ先が困難な事態と対策についてはいかがか。

市民福祉部長 入院から直接施設へ入所できる方は少数だと思います。在宅サービスとかを利用しながら待機している状況であると認識しています。

市としては、入所待機者が多く、また今後さらに増加が見込まれることから、早期の施設整備が必要であると考えています。

**要望** 事業者から、介護者への処遇改善・加算処置については、対象職種を細分化せずに事業所の裁量に任せて配分できるように、また防護服など資材の提供、検査キット購入への支援をとの声がある。根本的には、国庫の投入が必要と考えるが、市も、状況把握に努め、現場の声を聞き取るよう要望する。

**問** 宿泊施設の利用状況と待機者について伺う。  
市民福祉部長 今年5月末では、介護老人保健施設の定員190人に対し175人、入所期間が限られているので、ほぼ待機者はいません。特別養護老人ホームは定員255人に対し249人

(他に、地域コミュニティの存続について、質問)

## 第3回定例会提出議案の審議結果

令和4年第3回定例会は、9月6日から9月26日までの21日間の会期で開催されました。提出された議案は、令和4年度北茨城市一般会計補正予算など22件。結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議決の結果
議会報告第1号	請願・陳情の報告について	
	請願1 件名は14頁	採 択
	陳情1 件名は14頁	継続審査
報告第5号	専決処分の報告について	—
報告第6号	令和3年度北茨城市一般会計継続費精算報告書について	—
報告第7号	令和3年度北茨城市水道事業会計継続費精算報告書について	—
報告第8号	令和3年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	—
報告第9号	令和3年度決算に基づく資金不足比率の報告について	—
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
	専決第6号 令和4年度北茨城市一般会計補正予算（第4号）	
議案第41号	教育委員会の委員の任命について	同 意
議案第42号	市道路線の廃止について	可 決
議案第43号	市道路線の認定について	可 決
議案第44号	北茨城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第45号	北茨城市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第46号	北茨城市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第47号	北茨城市雨情の里スポーツ広場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可 決
議案第48号	北茨城市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第49号	北茨城市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可 決
議案第50号	北茨城市建築基準条例の一部を改正する条例	可 決
議案第51号	令和3年度北茨城市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第52号	令和3年度北茨城市公営企業会計決算の認定について	認 定
議案第53号	令和3年度茨城北農業共済事務組合農業共済事業会計決算の認定について	認 定
議案第54号	令和4年度北茨城市一般会計補正予算（第5号）	可 決
議案第55号	令和4年度北茨城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可 決

議案番号	件名	議決の結果
議案第56号	令和4年度北茨城市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	令和4年度北茨城市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第58号	令和4年度北茨城市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第59号	令和4年度北茨城市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議会議案第7号	議員の派遣について	可決
議会議案第8号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について	可決
令和3年 議会議案第7号	出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について	継続審査

### 第3回定例会 賛否のわかれた議案等の採決結果について

賛否のわかれた議案の採決結果について、各議員の賛否の状況を掲載します。

議員名(議席順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	審議結果
	沓澤和彦	滝文裕	鈴木卓實	和田喜武	柴田キクエ	熊田栄	上神谷英典	松本正春	今井路江	滝広嗣	豊田弘俊	蛭田千香子	鈴木木啓一	鈴木木康子	前田利勝(議長)	豊田海洋	鈴木信男	大平博之		
議案等番号																				
請願1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	採択
議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	認定
議会議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	●	○	○	可決
令和3年 議会議案第7号 継続審査について	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	継続

○賛成 ●反対 ※議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

## 一般会計9月補正予算の主な内容

(令和4年8月10日付、専決による補正予算第4号を含む)

#### データセンター事業実施可能性調査 業務委託料（専決）

**500万円**

当市にデータセンターを誘致するに当たり、データセンターの市場環境・概況、事業者のターゲット選定、中長期的な誘致戦略の考察等の参考情報を収集するための調査を行う。

#### 保育対策総合支援事業費補助金 (新型コロナウイルス感染症対策支援事業)

**266万2千円**

新型コロナウイルス感染症の状況下において、対象施設の職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続していくために必要なかかり増し経費等を補助する。

<p><b>私立保育所乳児等保育事業費補助金</b> 152万5千円</p>	<p><b>宿泊事業者給付金事業</b> 6150万円</p>
<p>非常勤保育士等の雇用に要する経費についての補助基準額の引き上げ。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により深刻な影響を受けた宿泊事業者を支援するとともに、地域経済の消費活性化を支援するため、市内宿泊事業者へ宿泊した方の宿泊料金を一部助成する。</p>
<p><b>街路灯・防犯灯LED化事業</b> 1893万円</p>	<p><b>揚枝方地区キャンプ場整備事業</b> 595万7千円</p>
<p>区及び常会管理の街路灯について、市管理の防犯灯（LED化）への移管業務を行う。また、既存の防犯灯についても、順次LED灯具への交換を行う。</p>	<p>新キャンプ場予定地の土地購入費。</p>
<p><b>子ども・子育て支援事業費補助金</b> 1573万7千円</p>	<p><b>ウォーキングロード整備工事</b> 7600万円</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策（かかり増し経費・感染防止物品購入） 新型コロナウイルス感染症対策（感染症対策改修分） ICT化推進事業（ICT機器購入及び研修のオンライン化）</p>	<p>磯原海岸沿いの堤防道路を活用したウォーキングロードの整備を行う。</p>
<p><b>多目的集会所空調設備設置工事</b> 652万7千円</p>	<p><b>消防団事業（消防団の力向上モデル事業）</b> 400万円</p>
<p>指定避難所における避難者の生活環境の改善の観点から空調設備の整備を行う。</p>	<p>消防団員が避難行動要支援者宅へ戸別訪問する訓練に合わせて住宅用火災警報器を配布するとともに、無人航空機（ドローン）の操縦免許等の取得を行う。 ※消防庁の「消防団の力向上モデル事業」を活用</p>
<p><b>茜平総合交流施設維持管理事業</b> 1億2438万8千円</p>	<p><b>中郷中学校屋内運動場長寿命化改修事業（設計委託料）</b> 502万7千円</p>
<p>マウントあかねの展望浴室棟新設工事を行う。</p>	<p>老朽化した中郷中学校屋内運動場について、屋根等の改修工事を行うための設計委託料。</p>
<p><b>生活応援商品券配布事業</b> 9810万9千円</p>	<p><b>公民館空調設備設置工事</b> 1020万6千円</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、原油価格・物価高騰による家計への負担軽減及び地域経済の消費活性化を支援するため、市民に対して商品券を配布する。</p>	<p>指定避難所における避難者の生活環境の改善の観点から空調設備の整備を行う。</p>
<p><b>事業者支援一時金</b> 9000万円</p>	<p><b>（仮称）旧華川中学校スポーツパーク整備事業</b> 2億2172万5千円</p>
<p>新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰の影響を受けた市内事業者等に対し、事業継続支援のため、一時金を支給する。</p>	<p>旧華川中学校跡地にグラウンドゴルフ場及びスケートボード場等を整備する。</p>

## 請願・陳情の審査結果

### 採択となったもの

請願 1 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

水戸市笠原町 978-46 茨城教育会館 2 F  
茨城県教職員組合 執行委員長 中山 幸男 外 175 名  
紹介議員 今井 路江

### 継続審査となったもの

陳情 1 台湾の世界保健機関（WHO）への参加を求める意見書を国に提出する陳情

古河市東山田 2944-395  
幸福実現党茨城県本部 代表 大貫 秀子

請願 5 鈴木啓一前議長他の署名簿に対する理不尽な越権行為他・豊田弘俊前副議長が講師と称する「消えゆく自治体」の著者はおらず疑惑を指摘するも、その疑義には答えず、警察へ電話を掛けて市民を脅した行為他・蛭田千香子前議運副委員長は市民の指摘に自己保身を図り、回答書を使い嘘の指摘で、市民に対し名誉毀損と圧力を加えた行為他・大平博之議員はM氏を使い、市会議員数人に対し、住民監査請求を行った行為他、問題のハラスメントや人道・倫理に背いた行為について、特別委員会を設け、真相を解明し責任の所在を明らかにする対応や市民の権利回復を求める請願

北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外 9 名

## 全員協議会 9月6日、26日開催

9月6日は事務局から、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」1件と「台湾の世界保健機関（WHO）への参加を求める意見書を国に提出する陳情」1件、執行部からは、「令和3年度決算に基づく健全化判断比率の報告について」などの報告の他、議案について説明がありました。

9月26日は事務局から、「議員の派遣について」など追加議会議案2件の説明がありました。

## 決算特別委員会 9月20日、21日開催

◇議案第51号 令和3年度北茨城市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計及び国民健康保険事業、水沼診療所、介護保険事業、後期高齢者医療など特別会計の歳入歳出決算5件について審査しました。

歳入は、当該年度と当該前年度の比較増減について、執行部から詳細なる説明を受けました。

歳出は、事業内容を確認し、主に委託料や予備費などについて質疑があり、詳細なる説明を受けました。

以上の質疑応答をふまえ、採決の結果、原案のとおり認定されました。

◇議案第52号 令和3年度北茨城市公営企業会計決算の認定について

水道事業、工業用水道事業、下水道事業及び市民病院事業の4件の会計決算について審査しました。

水道事業は、前年度に引き続き老朽管の布設替えなどの老朽施設更新事業、華川浄水場の更新事業について詳細なる説明を受け、有収率や配水量の減少について質疑があり確認しました。

工業用水道事業は、水道水の給水状況や経営状況などについて詳細な説明を受けました。

下水道事業は、下水道整備率などの詳細な説明を受け、今後の下水道の整備について質疑があり確認しました。

市民病院事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染症外来の診療や入院患者の受け入れ、経営指標の推移について詳細なる説明を受けました。また、奨学資金返還金・貸与金について、新型コロナウイルス感染症入院患者の病床確保に係る補助金、新型コロナワクチン接種に係る非常勤医師などについて質疑があり確認しました。

以上の質疑応答をふまえ、採決の結果、原案のとおり認定されました。

◇議案第 53 号 令和 3 年度茨城北農業共済事務組合農業共済事業会計決算の認定について  
同組合の解散に至る経緯、解散に伴う清算事務、決算状況等について詳細なる説明を受けました。  
以上の質疑応答をふまえ、採決の結果、原案のとおり認定されました。

## 討論

9 月 12 日、鈴木康子議員は、議案第 5 1 号令和 3 年度北茨城市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について、反対討論をしました。

同日、蛭田千香子議員は、令和 3 年議会議案第 7 号「出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について」文教厚生委員長の継続審査報告に対し反対討論をしました。

## 特別委員会（政治倫理特別委員会）9 月 26 日開催

9 月 26 日に、請願 5 を審査するため、全議員 19 名を委員とする政治倫理特別委員会が開催されました。今委員会では協議の末、継続審査とすることが決定しました。

## 意見書の提出

文教厚生委員会から次の意見書が提出され、本会議で可決されました。

なお、意見書は関係機関に送付されました。

「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書」

## 一部事務組合・広域連合議会

新清掃センターや工業用水道事業などの管理運営を高萩市と共同で行う「高萩・北茨城広域事務組合」議会定例会が 9 月 28 日に開催されました。

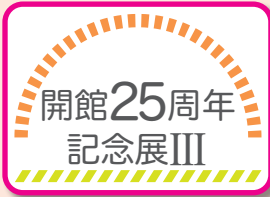
「茨城県後期高齢者医療広域連合」議会定例会が 8 月 30 日に開催されました。

### 表紙の解説

平成 30 年 4 月に開設した市生涯学習センター分館「期待場」は 5 年目となりました。

ギャラリー「期待場」では石井竜也さんや蛭田二郎さんの作品をご覧いただけます。8 月には展示品の一部が入れ替わりました。

芸術の秋、新しい「期待場」に足を運んでみませんか。



## 「再興院展の立役者 齋藤隆三」

令和4年10月8日(土)～11月27日(日)

休館：月曜日

齋藤隆三(1875-1961)は茨城県出身の歴史学者です。日本の美術史上における功績として、岡倉天心や横山大観、菱田春草らと交友し、天心没後の大正3年(1914)、日本美術院の再興に参加したことが挙げられます。天心が創始した日本美術院は120年以上の歴史を有する美術団体ですが、齋藤は長年にわたって運営に携わり、特に大観とは50年来の付き合いで、よき「相棒」として大観を支えました。

本展は齋藤にスポットをあてる全国初の展覧会です。初公開を多く含む齋藤の旧蔵コレクションを



小林古径「機織」

大正15年(1926)東京国立近代美術館蔵

はじめ、日本美術院の歴史を華々しく飾った作品資料128件によってその業績を紹介します。国指定重要文化財など、齋藤が愛した茨城ゆかりの古美術品も公開します。

齋藤は大きな功績がありながらも、現在ではその名がほとんど知られていません。その理由のひとつとして、いわゆるアーティストではない齋藤は美術館での紹介が難しく、十分な顕彰が行われてこなかったという実情があります。今回、展覧会名にあえて「立役者」と銘を打ちました。齋藤が天心や大観らと出会った五浦の地で開催される本展を、是非ご覧ください。

(学芸員 塩田 釈雄)

### 令和4年第4回定例会日程(予定)

令和4年第4回定例会は、12月6日から12月21日までの16日間の予定です。

12月6日(火)	本会議(議案説明など)
12月12日(月)	本会議(一般質問)
12月13日(火)	本会議(一般質問)
12月14日(水)	産業建設委員会(議案審査)
12月15日(木)	文教厚生委員会(議案審査)
12月16日(金)	総務委員会(議案審査)
12月21日(水)	本会議(採決など)

#### ●議会だより編集委員会委員●

委員長	滝 広嗣
編集長	上神谷 英典
副編集長	和田 喜武
委員	鈴木 康卓
委員	鈴木 卓實
委員	滝 文裕
委員	沓 澤和彦

### 編集後記



現在新型コロナウイルス感染症の第7波が収束に向かいつつありますが、当市においても第6波と違い大きな感染力が猛威を振るるところです。

感染症対策としてワクチン接種や発熱外来、病床確保に積極的に対応してきました。しかし、全数把握の見直しや茨城版コロナNextの方針変更など感染症対策の基本となる指針が目まぐるしく変更される中で、市民の皆様も混乱をしているかもしれません。引き

続き市報やHPにより正確な情報を発信できるよう議会としても努めていきます。

今年度中には、街路灯・防犯灯のLED化事業や消防団の力向上事業、防災減災に向けた安全対策など、日常生活に深く関係している施策が控えています。

北町関本中線の開通や、新清掃センターの本格稼働、利便性向上に深く係わる施設についても引き続きしっかりとお伝えできるように、取り組んでいきます。

(沓澤和彦 記)